

令和3年度

全国学力・学習状況調査結果の概要について

山梨県教育委員会

1 調査の本県の概要

○実施日 令和3年5月27日（木）

○目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の視点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・上記のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

○調査内容

①教科に関する調査（国語、算数・数学）

- ・出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

ア) 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

イ) 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

調査問題では、上記ア)とイ)を一体的に問うこととする。

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査及び学校に対する調査

○対象 小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒

○県内(公立学校)の実施状況

	公立小学校	特別支援学校 小学部	公立中学校	特別支援学校 中学部	合 計
学校数 (分校含む)	163校	[1校]	85校	[3校]	248校
児童生徒数	6,097人		6,054人		12,151人

2 全体についてのコメント

- ①全体的に見て、全国平均との差が±5ポイント以内であり、全国平均と概ね同等の結果である。（全国の平均正答数との比較：上回る☆ 同等－ 下回る★）

令和3年度 本県の調査結果(公立) 【悉皆】				
	小学校調査		中学校調査	
	国語	算数	国語	数学
平均正答数(本県) 問	8.8/14	10.8/16	9.2/14	9.1/16
平均正答数(全国) 問	9.1/14	11.2/16	9.0/14	9.1/16
正答数の差	★	★	☆	－
平均正答率(本県) %	63	68	66	57
平均正答率(全国) %	64.7	70.2	64.6	57.2

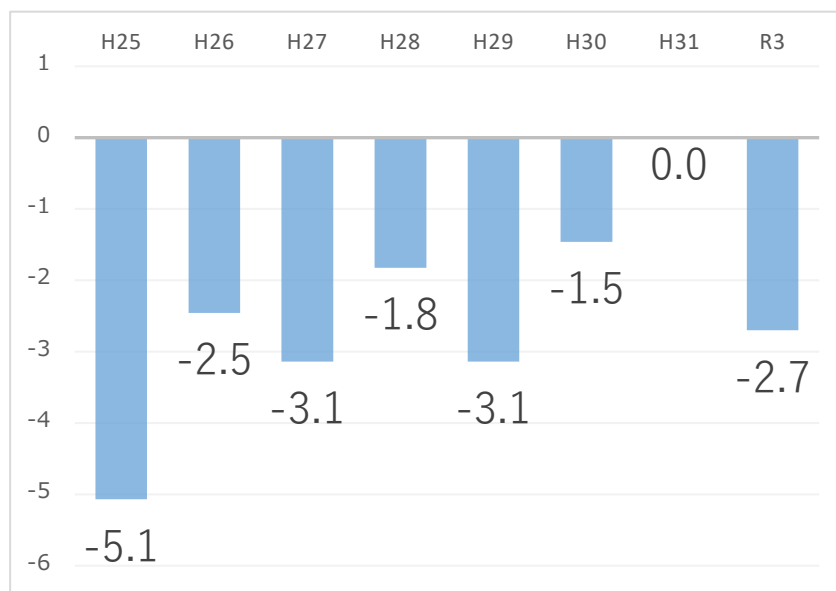
また、前回（平成31年度）調査における全国平均との差も同様に±5ポイント以内であり、前回調査と同等の結果である。

平成31年度(令和元年度) 本県の調査結果(公立) 【悉皆】				
	小学校調査		中学校調査	
	国語	算数	国語	数学
平均正答数(本県) 問	8.7/14	9.3/14	7.5/10	9.5/16
平均正答数(全国) 問	8.9/14	9.3/14	7.3/10	9.6/16
正答数の差	★	－	☆	★
平均正答率(本県) %	62	66	75	60
平均正答率(全国) %	63.8	66.6	72.8	59.8

- ②経年的に見て、改善の傾向が読み取れる。

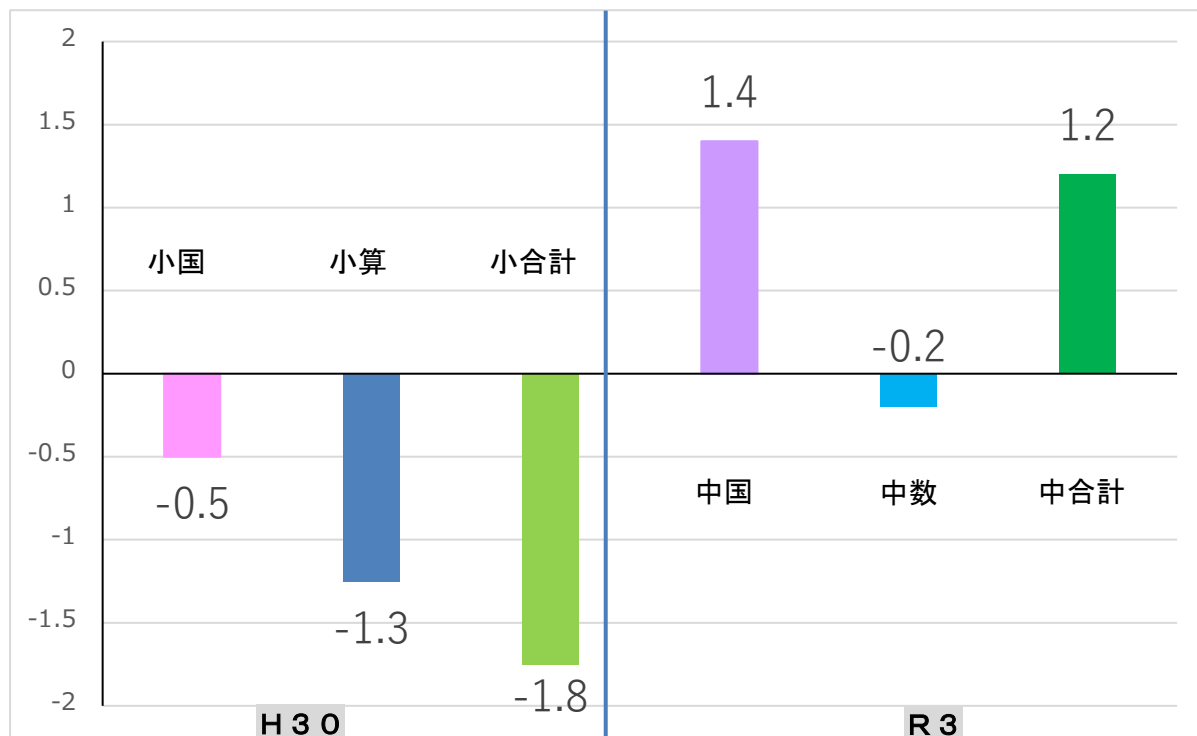
- 平成25年度には全国平均から-5.1ポイントの差があったが、本年度は-2.7ポイントであり、差の増減はあるものの、改善の傾向にあるといえる。（図1）

図1 本県平均正答率と全国平均正答率との差の合計の推移



- ③同一学年生徒（今年度の中学３年生が小学校６年時）の比較では、3.0 ポイント上昇している。（小学校６年時-1.8 から、本年度+1.2 に全国平均を上回るまで、伸びを示している。）（図２）

図２ 小学校６年（H３０）と中学校３年（R３）における全国平均正答率との差



- ④質問紙調査においては、これまで肯定的な回答が多かった、学習への興味・関心・規範意識・自己有用感に関する項目について、全国平均と比べて引き続き高い傾向にある。

<児童生徒質問紙>

- ・児童生徒共通して、学習に対する興味関心が、全国平均を上回っている。
 - 小 2.4 ポイント (山梨 85.7% 全国 83.3%)
 - 中 1.6 ポイント (山梨 78.3% 全国 76.7%)
- ・児童生徒共通して、「人が困っている時には進んで助ける」「人の役に立つ人間になりたい」等の規範意識の項目で、全国平均を上回っている。
 - 小 1.8 ポイント (山梨 95.5% 全国 93.7%)
 - 中 2.0 ポイント (山梨 95.1% 全国 93.1%)
- ・児童生徒共通して、「自分にはよいところがある」「将来の目標を持っている」等の自己有用感などの項目で、全国平均を上回っている。
 - 小 3.2 ポイント (山梨 81.8% 全国 78.6%)
 - 中 4.4 ポイント (山梨 76.8% 全国 72.4%)

- ・児童生徒共通して、生活習慣・学習習慣に関する項目についても、全国平均を上回っている。
 小 3.7 ポイント(山梨 88.8% 全国 85.1%)
 中 2.7 ポイント(山梨 84.9% 全国 82.2%)
- ・児童生徒共通して、学習時の ICT の活用に関する項目については、全国を下回っており、ICT 活用促進に取り組む必要がある。
 小 -8.1 ポイント(山梨 48.9% 全国 57.0%)
 中 -10.6 ポイント(山梨 41.3% 全国 51.9%)

<学校質問紙>

- ・小学校中学校共通して、授業改善に関する項目で、全国平均を上回っている。
 小 5.3 ポイント(山梨 90.0% 全国 84.7%)
 中 4.2 ポイント(山梨 85.5% 全国 81.3%)
- ・小学校中学校共通して、生徒指導に関する項目で、全国平均を上回っている。
 小 3.1 ポイント(山梨 95.9% 全国 92.8%)
 中 1.1 ポイント(山梨 97.9% 全国 96.8%)
- ・小学校中学校共通して、教職員の資質能力の向上に関する項目で、全国平均を上回っている。
 小 4.2 ポイント(山梨 94.5% 全国 90.3%)
 中 7.0 ポイント(山梨 94.9% 全国 87.9%)
- ・小学校中学校共通して、地域と連携した活動に関する項目で、全国平均を上回っているが、コミュニティ・スクール等の設置に係る項目では、全国平均を下回っており、今後も継続して取り組む必要がある。
 小 -2.0 ポイント(山梨 72.7% 全国 74.7%)
 中 -1.7 ポイント(山梨 79.7% 全国 81.4%)

- ⑤同一学年生徒（中学3年生が小学校6年生時）の正答率の伸びについては、児童生徒質問紙において、学習への興味関心・規範意識・自己有用感に関する項目について、肯定的な回答の割合が高いことが、要因の一つと捉えられる。

山梨県の同一児童生徒の小学校6年生時から中学校3年生時の全国学力学習状況調査における正答率の比較においては、過去の調査を含め、平均正答率の伸びが確認できる。同時に、質問紙調査においても、自己有用感に関する項目は全国平均を上回る傾向が続いている。

文部科学省が公表した過去の調査における平均正答率と質問紙のクロス集計では「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に、肯定的に回答した児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られたとしている。

本県でも、児童生徒の自己有用感が育まれることにより、小学校から中学校に向けて学力が伸びていく傾向があると捉えられる。

令和3年度 山梨県指導重点 ◇学級経営・ホームルーム経営の充実◇

- 児童生徒が所属感、自己有用感をもつことができるよう、集団としての意見をまとめたり、個人として問題解決に向けた目標や方法・内容等を決定したりする活動に取り組み、一人一人のよさや可能性を生かすように努める。

3. 令和3年度の実施

1 学力向上総合対策事業の推進

- 学力向上推進事業（学力向上対策会議、学力向上キャラバン）
- 山梨県学力把握調査事業
- 学力向上支援スタッフ配置事業、スクール・サポート・スタッフ配置事業
- 少人数教育推進事業
- 英語教育改善プラン推進事業
- 小学校プログラミング教育推進事業
- 深い学びの実現に向けた ICT 活用推進事業
- 情報社会に生きる読解力・記述力育成事業
- 若手教員グローアップ事業
- 家庭学習習慣化促進事業
- 外国人児童生徒等支援事業

2 やまなしスタンダードの推進

- ・ 「やまなしスタンダード～授業づくりの7つの視点～」のもと、県全体での授業づくりの取組の推進

3 地域の実態に応じた取組の実施

- ・ 地域学力向上推進幹を中心とした、各地域の特色や課題に焦点を当てた学力向上対策の推進

4 県教委による採点および採点講習動画配信の実施

- ・ 小・中学校の答案を総合教育センター指導主事（小・中・高）が採点し、今年度の傾向を分析
- ・ 自校採点の方法等に関する説明動画を小・中ともに配信（各校の課題把握のための自校採点を促し、課題克服に向けた早期の授業改善につなぐ）

5 各種説明会を通じた早期の授業改善の推進

- ・授業改善のための組織的な対応を促すため、学力調査を踏まえた授業改善のための説明会（小：6月29日、中：7月1日）を開催
- ・誤答から考えられる課題と、課題克服に向けた授業改善のポイントをまとめた冊子の配付、早期の授業改善を促進

6 「学力向上フォーラム2021」の開催

- ・大学の教授を講師に招聘して、「主体的・対話的で深い学び」を通じた学力向上の在り方についての講演会
- ・全国学力・学習状況調査より明らかになった課題、学校での学習と学力向上対策等についての指導主事による説明
- ・学級経営の充実にに向けた取組に関する講演、トークセッション

4. 結果を踏まえた今後の取組

○指導主事による学校訪問

- ・市町村、学校毎の状況を把握し、指導改善の取組の周知・徹底を図る。

○分析結果を反映させた研修会や学習会の実施

- ・各種研修会の中で、分析結果をもとにした授業改善の取組を説明する。
- ・各校からの要請で行う学習会にて、指導主事が授業改善に向けた指導を行う。

○「結果と授業改善のポイント」の冊子の作成・配付と説明会の実施

- ・授業改善に向けた取組を推進するため、全国学力・学習状況調査及び山梨県学力把握調査等の調査結果、及び山梨県公立小中学校教育課程実施状況調査を踏まえた取組について、小学校4教科(国・算・社・理)、中学校5教科(国、数、英、社、理)で作成し、各校に配付する。
- ・2学期以降の授業改善につなげるために、作成した冊子をもとに説明会を実施する。
(10月上旬予定)

○「ピックアップ問題」の作成と配信

- ・各種学力調査の結果を受け、課題がある学習内容についてのピックアップ問題を作成し、確実な学力の定着を目指す。(10月中に配信)

1. 各教科の概要

以下の3つの視点から分析を行った。

- 正 平均正答率が高いまたは低い主な設問
- 差 全国の平均正答率と差が見られる主な設問
- 経 経年比較で成果や課題が見られる主な設問

小学校

教科	よくできている設問（○） 課題がある設問（△）		平均正答率（％）		選定理由	
			山梨県	全国		
国語	○	津田梅子についての【スピーチ】の練習の の部分で話す内容として適切なものを選択する〔 1 三〕	80.0	81.0	正	平均正答率が高い。新学習指導要領に示された内容についてもできている。
	△	面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く〔 2 四〕	27.7	29.7	正 差	平均正答率が低く、全国平均を2ポイント下回っている。
算数	○	6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ〔3（1）〕	95.2	95.8	正	平均正答率が高い。
	△	直角三角形の面積を求める式と答えを書く〔 2 （1）〕	49.0	55.1	正 差	平均正答率が低く、全国平均を6.1ポイント下回っている。

中学校

教科	よくできている設問（○） 課題がある設問（△）		平均正答率（％）		選定理由	
			山梨県	全国		
国語	○	話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する〔 1 二〕	93.6	92.5	正	平均正答率が高い。
	△	「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く〔 3 四〕	20.2	20.5	正	平均正答率が低い。

数 学	○	反復横とびの記録の中央値を 求める〔5〕	86.6	84.5	正 差	平均正答率が高く、全国 平均を2.1ポイント上回 っている。
	△	「日照時間が6時間以上の日 は、6時間未満の日より気温 差が大きい傾向にある」と主 張できる理由を、グラフの特 徴を基に説明する「〔8 (3)〕」	11.1	11.1	正 経	平均正答率が低く、経年 的にも課題が見られる。 〔H29 B〔5〕(3) 県 14.3% 全国 17.6%〕

2. 生活習慣や学習環境等に関する調査の本県の結果

【質問内容の番号は各質問紙の設問番号を表す】

(1) 児童生徒質問紙

※肯定的な回答が高い内容

＜上 段：本県回答率 下 段：全国平均との差＞

＜数値は肯定的な回答をした児童生徒の割合を表す＞

質問項目	小学校	中学校
①学習に関する興味関心：国語と算数（数学）8項目の平均	85.7% +2.4	78.3% +1.6
①-1 国語への関心：4項目の平均	85.1% +3.2	83.6% +3.3
43 国語の勉強は好きですか	62.6% +4.2	64.3% +3.5
44 国語の勉強は大切だと思いますか	95.3% +2.1	93.8% +2.2
45 国語の授業の内容はよく分かりますか	89.0% +4.8	84.9% +4.8
46 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立 つと思いますか	93.5% +1.7	91.4% +2.7
①-2 算数（数学）への関心：4項目の平均	86.3% +1.6	73.0% -0.1
52 算数（数学）の勉強は好きですか	70.0% +2.2	57.5% -1.6
53 算数（数学）の勉強は大切だと思いますか	94.4% +0.6	85.1% +1.0
54 算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか	86.7% +2.1	74.8% +0.2
55 算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たとき に役に立つと思いますか	94.2% +1.6	74.7% +0.1

②規範意識：3 項目の平均	95.5% +1.8	95.1% +2.0
10 人が困っているときは、進んで助けていますか	92.2% +3.5	92.1% +3.6
11 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.8% +1.0	97.4% +1.5
12 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.5% +1.0	95.8% +0.8
③自己有用感：2 項目の平均	81.8% +3.2	76.8% +4.4
6 自分には、よいところがあると思いますか	80.0% +3.1	80.8% +4.6
7 将来の夢や目標を持っていますか	83.6% +3.3	72.8% +4.2
④生活習慣、学習習慣：4 項目の平均	88.8% +3.7	84.9% +2.7
1 朝食を毎日食べていますか	96.9% +2.0	93.9% +1.1
2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	85.7% +4.5	82.6% +2.8
3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.6% +3.2	94.1% +1.4
17 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）	79.0% +5.0	69.1% +5.6

※全国平均を下回る主な内容 ＜上 段：本県回答率 下 段：全国平均との差＞
＜数値は肯定的な回答をした児童生徒の割合を表す＞

質問項目	小学校	中学校
⑤授業での I C T 活用：2 項目の平均	48.9% -8.1	41.3% -10.6
26 5 年生（中学 1、2 年生）までに受けた授業で、コンピュータなどの I C T 活用機器をどの程度使用しましたか【月 1 回以上】	68.4% -6.6	59.8% -9.1
27 あなたは学校で、コンピュータなどの I C T 機器を、他の友達（生徒）と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか【週 1 回以上】	29.3% -9.7	22.7% -12.1

(2) 学校質問紙

※肯定的な回答が高い内容

＜上 段：本県回答率 下 段：全国平均との差＞

＜数値は肯定的な回答をした学校の割合を表す＞

質問項目	小学校	中学校
①授業改善：3 項目の平均	90.0% +5.3	85.5% +4.2
26 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	96.4% +11.8	97.6% +13.1
36 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	89.6% +1.5	85.9% -1.0
37 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	84.1% +2.7	72.9% +0.3
②生徒指導：5 項目の平均	95.9% +3.1	97.9% +1.1
7 調査対象学年の児童（生徒）は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	92.0% +3.5	96.4% +0.4
8 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	90.8% +5.5	98.8% +0.9
9 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	97.5% +2.9	96.5% +3.8
10 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学習規律（他の人が話をしている時はしっかりと聞く、授業開始のチャイムを守るなど）を維持しましたか	100% +3.1	98.8% ±0
11 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童（生徒）一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行いましたか	99.4% +0.7	98.9% +0.3
③資質能力：8 項目の平均	94.5% +4.2	94.9% +7.0
17 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	99.4% +0.7	97.6% -0.4
22 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	98.8% +0.3	98.8% +1.6
23 授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	98.2% +0.1	100% +6.1
24 児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を	84.1% +1.7	84.7% +7.0

行っていますか		
25 (小) 個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか (中) 教員は、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか	92.6% +16.7	97.7% +22.1
26 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	96.4% +11.8	97.6% +13.1
27 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	98.2% +1.8	96.5% -0.3
28 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	88.4% +1.0	85.9% +6.8

※児童生徒質問紙・学校質問紙において、ともに課題がみられる項目

質問項目	小学校	中学校
①地域連携：4項目の平均	72.7% -2.0	79.7% -1.7
80 職場見学や職場体験活動を行っていますか【いる】 【学校質問紙】	49.1% +4.9	94.1% +4.5
81 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか【学校質問紙】	86.5% +0.8	91.8% +4.6
82 保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか【学校質問紙】	97.6% +1.9	87.1% -1.8
83 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(82)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか【学校質問紙】	57.7% -15.6	45.9% -17.4
参考：今住んでいる地域の行事に参加していますか 【児童・生徒質問紙】	71.1% +13.0	60.3% +16.6

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業と児童生徒の学習状況・学校の取組に関する質問

【学校質問紙】

＜上 段：本県回答率

下 段：全国平均との差＞

質問項目	小学校	中学校
臨時休業期間中の家庭学習の内容		
①学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ①教科書に基づく学習内容の指示	90.8% -2.6	90.6% -1.9
②学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ②学校が作成したプリント等を配布	98.8% +3.1	96.5% +1.2
③学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑤学校が作成した学習動画等を活用した学習	26.4% +3.2	31.8% +5.1
④学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑧都道府県や市町村教育委員会が作成した学習動画等を活用した学習	60.2% +17.1	52.9% +16.4
⑤学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか ⑥同時双方向型オンライン指導を通じた学習	5.0% -0.7	7.1% -0.3
学習状況や生活状況の把握手段(抜粋)		
①学校の全部を休業としていた期間中、調査対象児童の学習状況や生活状況についてどのような手段で把握していましたか(複数選択可)		
1. 登校日を設定して学校で直接行った	66.9% +7.6	74.1% +4.1
2. 家庭訪問により行った	40.5% -0.2	49.4% +3.0
3. 電話やFAXにより行った	83.4% +10.9	78.8% +7.1
4. 郵便により行った	2.5% -3.8	9.4% +1.2
5. 電子メールやSNSを使って行った	15.3% -2.1	12.9% -2.8
6. オンライン学習支援プラットフォーム・学習管理システム等を活用して行った	3.7% -1.1	1.2% -6.3
7. 同時双方向型オンラインシステムを活用して行った	2.5% -3.4	9.4% +1.8
8. 児童が利用可能な相談窓口を周知・設置して行った	5.5% -0.4	8.2% +0.3

【児童生徒質問紙】「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」

＜上 段：本県回答率

下 段：全国平均との差＞

質問項目	小学校	中学校
①新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか	59.6% +4.4	66.3% +3.5
②新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか	70.1% +5.5	39.9% +2.3
③新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか	70.0% +6.9	51.5% +3.1
④新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか（複数選択） …抜粋		
・ 家族に聞いた	86.0% +7.2	49.1% +4.8
・ 自分で調べた	70.0% +7.6	67.7% +6.1